

2020年12月期 第3四半期 決算説明資料



株式会社 ヴィンクス
2020年 11月 6日

証券コード：3784

2020年12月期 第3四半期の決算概要

- ・決算ハイライト … P 4
- ・分野別状況 … P 5
- ・2020年度売上高・営業利益 進捗状況 … P 8
- ・営業活動における主なトピックス … P 9
- ・新製品のお知らせ〈非接触型セルフPOS〉 … P 10
- ・通期業績予測、配当、財務状況 … P 12

2020年12月期 第3四半期の 決算概要

【2020年12月期 第3四半期 総括】

売上高につきましては、小売業におけるキャッシュレス化、マルチベンダー化（ハードウェアとソフトウェアの分離）のニーズの高まり等により、プロダクト等の開発売上が増加しました。一方、新型コロナウイルスによる顧客の店舗休業および店舗展開計画の延伸により、ハードウェア販売等の売上は減少しました。

利益面につきましては、開発生産性の向上により各段階利益が前年値を上回りました。

単位：百万円（百万円未満切捨て）

科目名	2020年第3四半期 累計		2019年第3四半期 累計対比			
	実績値	売上比	実績値	前年比	前年差	売上比
売上高	20,459	-	22,607	90.5%	▲2,148	-
売上総利益	5,087	24.9%	5,032	101.1%	55	22.3%
販売管理費	3,399	16.6%	3,494	97.3%	▲95	15.5%
営業利益	1,688	8.3%	1,537	109.9%	151	6.8%
経常利益	1,679	8.2%	1,502	111.8%	176	6.6%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,047	5.1%	1,001	104.5%	45	4.4%

1. アウトソーシング分野につきましては、主に海外を中心とした顧客の店舗休業およびサービス内容変更等により、利用料サービスの売上高が減少し、前年実績値を下回りました。
2. ソリューション分野につきましては、緊急事態宣言によるシステム導入の遅延影響、一時的な受注の遅れにより、売上高が前年実績値を僅かに下回りました。
3. プロダクト分野につきましては、POS案件等の拡大により、売上高、営業利益ともに前年実績値を上回りました。
4. その他IT関連分野につきましては、新型コロナウイルスの影響により、ハードウェア販売を中心とした受注遅れが発生し、売上高が前年実績値を大きく下回りました。

単位：百万円（百万円未満切捨て）

【売上高】 分野	2020年第3四半期累計		2019年第3四半期累計対比		
	実績値	売上比率	実績値	前年比	前年差
アウトソーシング分野	6,528	31.9%	7,096	92.0%	▲567
ソリューション分野	7,984	39.0%	8,043	99.3%	▲59
プロダクト分野	2,619	12.8%	2,053	127.6%	565
その他IT関連分野	3,328	16.3%	5,414	61.5%	▲2,086
合計	20,459	100.0%	22,607	90.5%	▲2,148

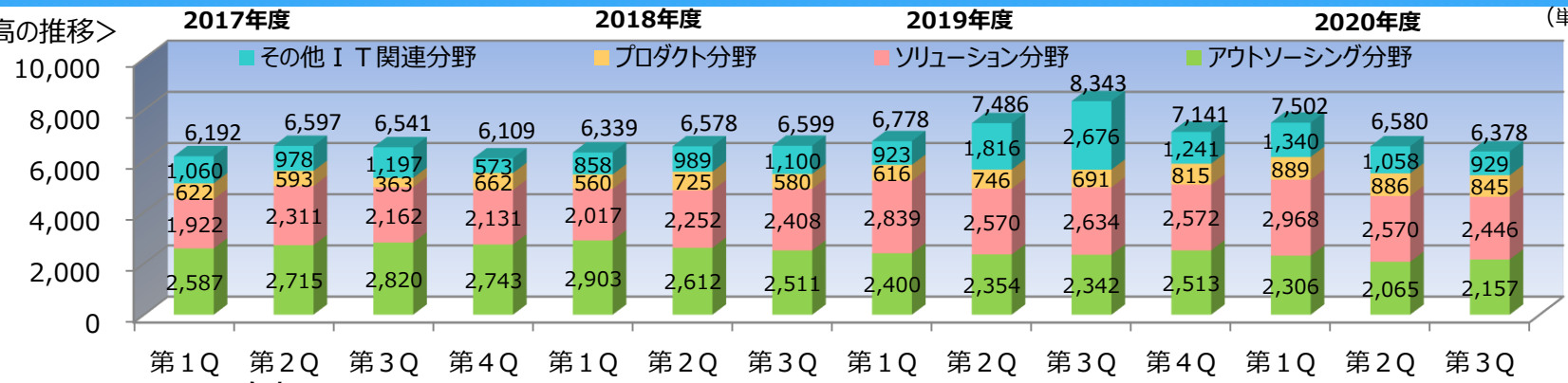
【営業利益】 分野	2020年第3四半期累計		2019年第3四半期累計対比		
	実績値	売上比率	実績値	前年比	前年差
アウトソーシング分野	486	7.5%	569	85.4%	▲82
ソリューション分野	805	10.1%	730	110.3%	75
プロダクト分野	283	10.8%	143	197.3%	139
その他IT関連分野	112	3.4%	93	120.8%	19
合計	1,688	8.3%	1,537	109.9%	151

分野別状況

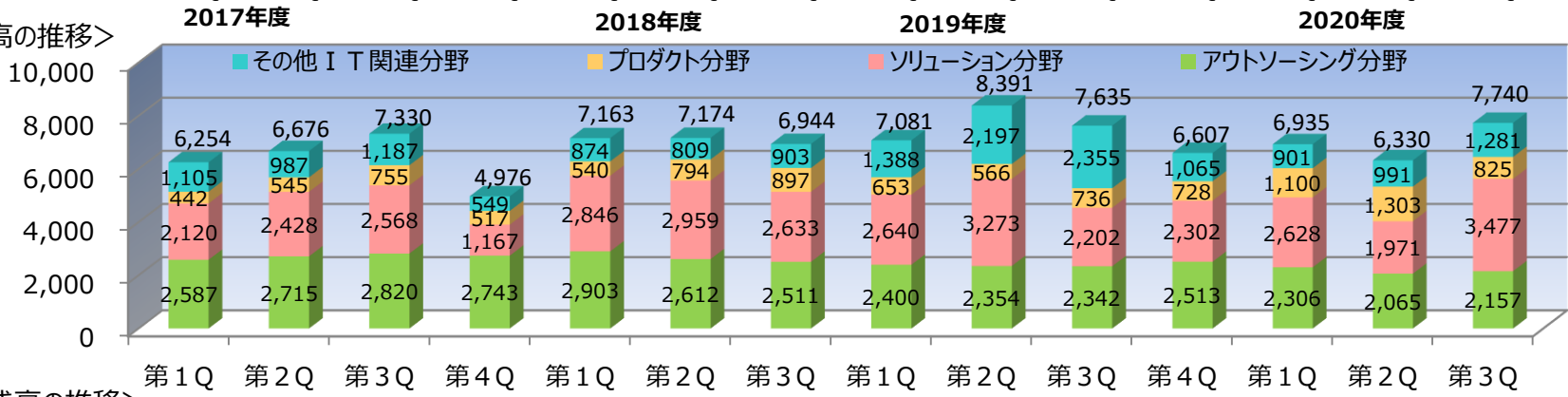


(単位：百万円)

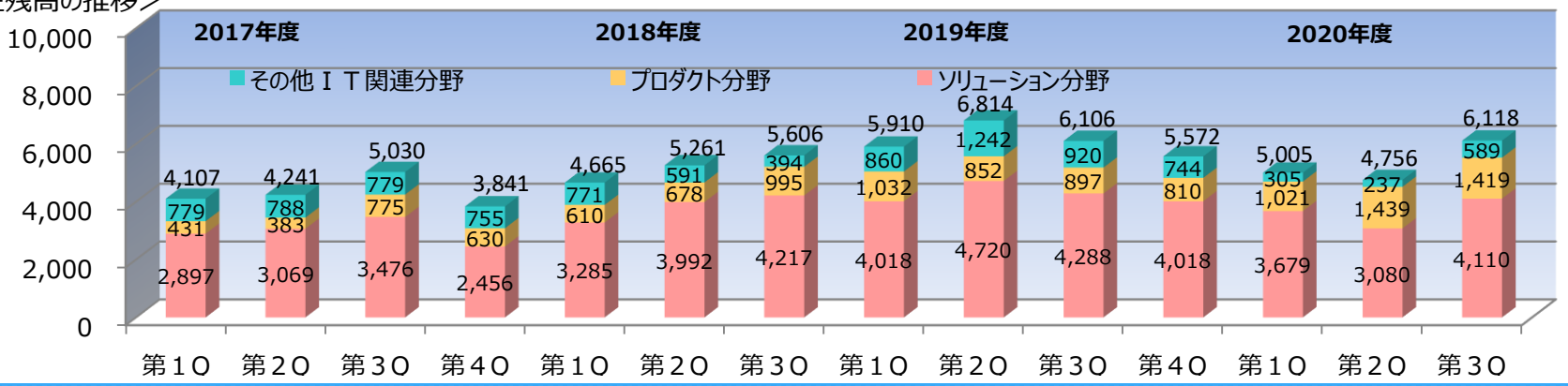
<売上高の推移>



<受注高の推移>



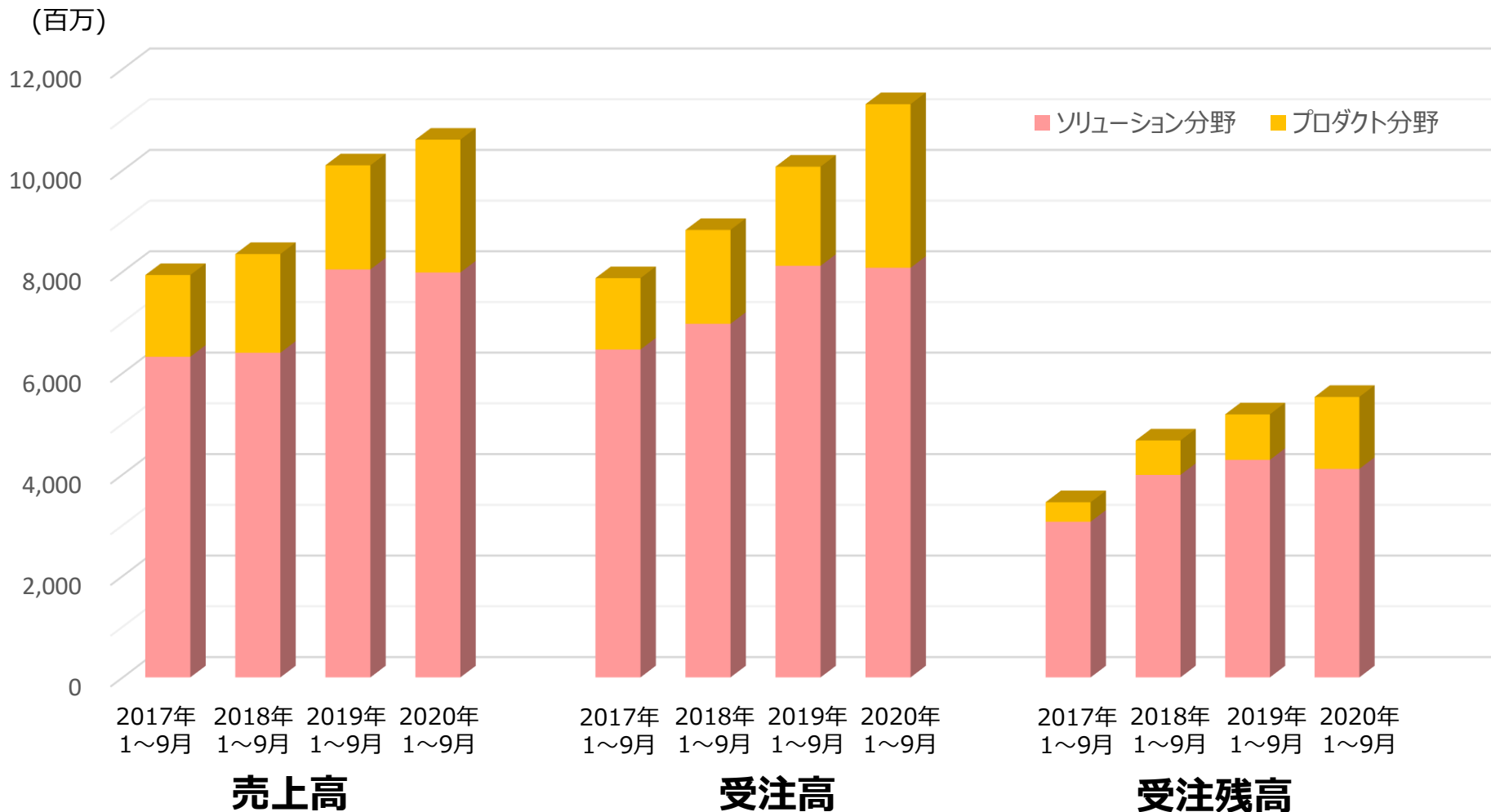
<受注残高の推移>



分野別状況 (補足資料:項目別)

<ソリューション分野とプロダクト分野の過去4年推移 (1~9月累計) >

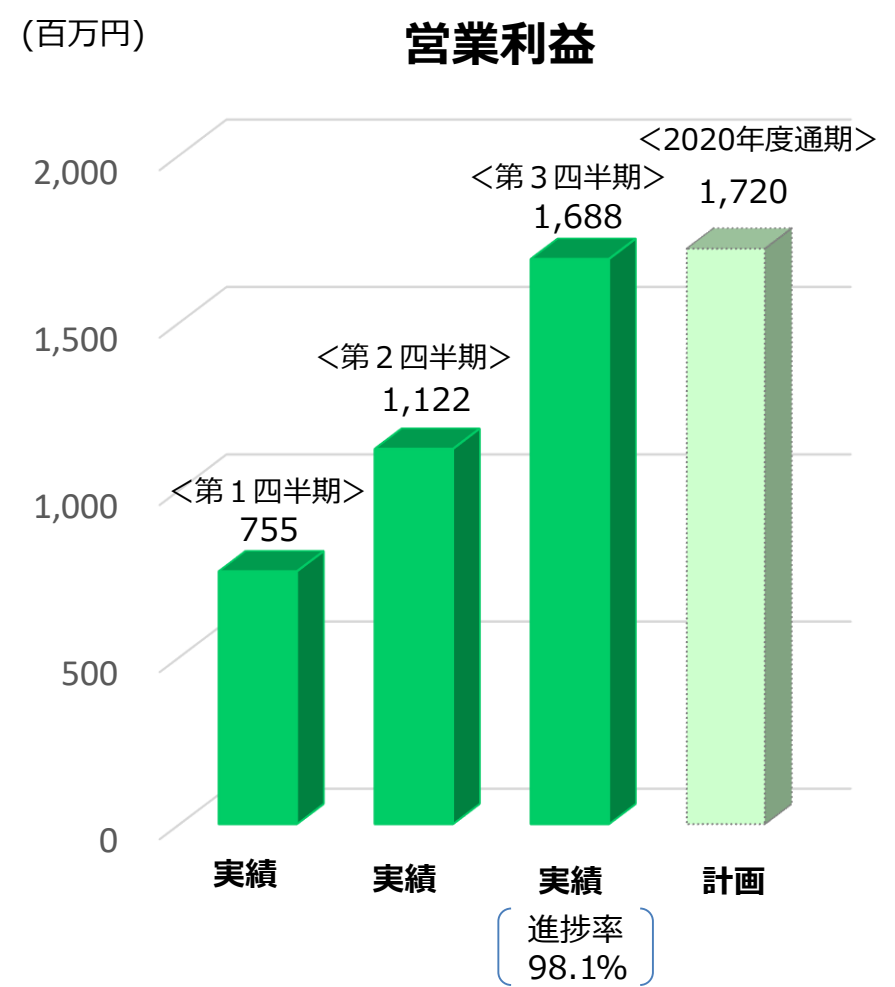
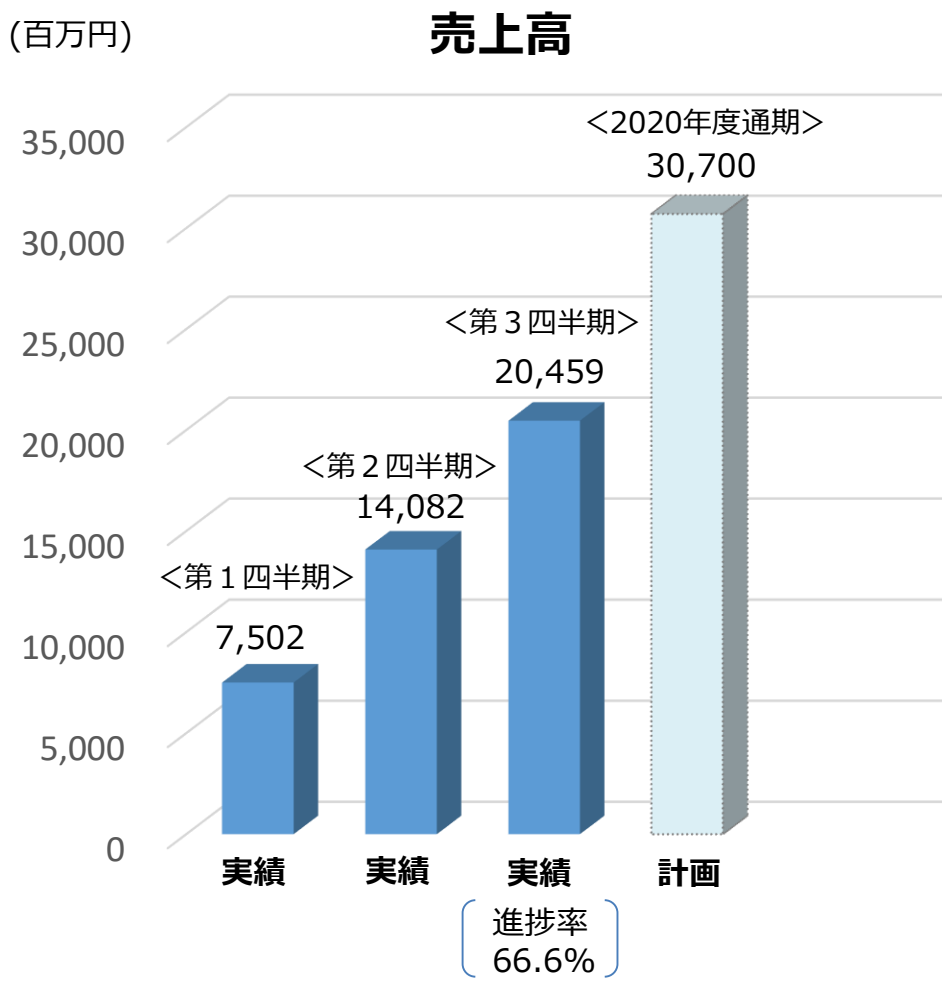
主要ビジネスであるソリューション・プロダクト分野については、概ね順調に推移しております。



2020年度売上高・営業利益 進捗状況

新型コロナウイルスの影響による顧客の店舗休業および店舗展開計画の延伸により、ハードウェア販売等の売上は減少しましたが、主要ビジネスであるソリューション・プロダクト分野によって、利益を順調に確保しています。

単位：百万円（百万円未満切捨て）



営業活動における主なトピックス

ニュー
リテール
戦略の実行

スーパー

○次世代キャッシュレス・セルフPOS

関東地方を中心として展開する大手スーパー様より、次世代キャッシュレス・セルフPOSシステムの導入案件を受注いたしました。

特定顧客
事業の深耕流通・
サービス

○キャッシュレス決済システム

全国にショッピングモールを展開するディベロッパ―法人様より、海外のキャッシュレス決済システム対応案件を受注いたしました。

流通・
サービス

○基幹システム

関東地方を中心として展開する大手スーパー様より、プロセスセンターのリプレース案件を受注いたしました。

プロダクト
事業の強化

スーパー

○自動発注システム

関西の生協グループ様や、東京都・神奈川県を中心として展開する食品スーパー様、および兵庫県を中心として展開する食品スーパー様、及び共同仕入れ機構の関連会社である関東地方の食品スーパー様より「MDware自動発注」の導入案件を受注いたしました。

ニューリテール
事業の拡大流通・
サービス他

○POSシステム

空港運営会社様向け次期POSシステムの開発案件を受注いたしました。

流通・
サービス他

○RPA (Robotic Process Automation : これまで人間が行ってきた定型的なパソコン操作をソフトウェアのロボットにより自動化することをいいます)

小売業・卸売業等11社のお客様より、RPAの導入案件を受注いたしました。また『BizRobo! Family Awards 2020』において、「デジタル・トランスフォーメーション賞」を受賞しました。

食品
スーパー

○基幹システム

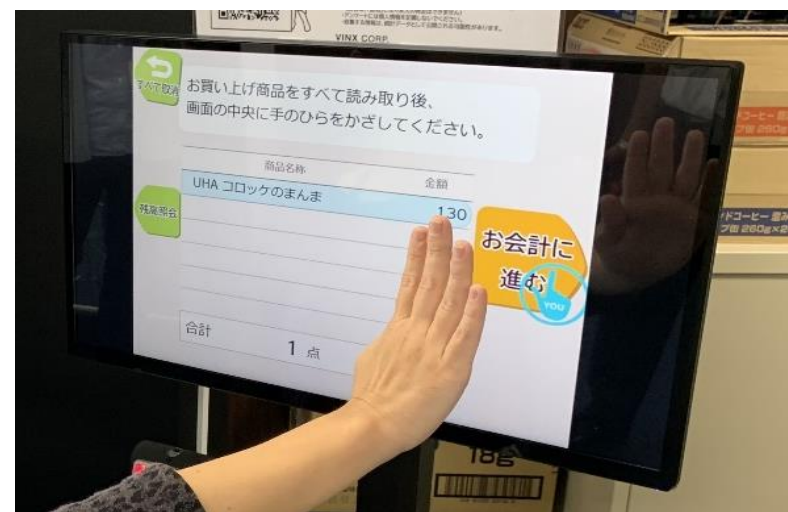
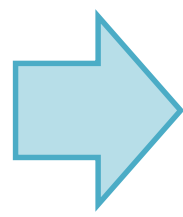
西東京を中心に展開する食品スーパー様より、基幹システム構築案件を受注いたしました。

レジの非接触対策 POS画面に触らずにお会計が可能

POS画面に近づけた手の動きを赤外線センサーが検知して、画面に接触することなくお会計ができるような非接触型セルフPOSを開発しました。
当社内の無人店舗「ヴィンクス・ストア」で実証実験を開始しました。



手を近づけると画面にアイコンが登場します



空中で手を動かすことでアイコンを操作できます

通期業績予測、配当、財務状況

通期業績予測、配当

【連結業績予想などの将来予測情報に関する説明】

当第3四半期連結累計期間の業績は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、ハードウェア販売等の一部案件で計画の進捗に遅れが見られるものの、利益面は概ね計画通り推移しております。通期連結業績につきましては、引き続き当該感染症の影響による経済情勢の先行き不透明感もありますが、現時点では当初計画と大幅な差異は発生しない見込みであり、2020年2月12日付で公表いたしました2020年12月期通期業績予想値に変更はございません。今後、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

【配当方針、配当見通し】

当社は、株主様への利益還元を経営の重要課題のひとつとして認識しており、配当金につきましては、企業価値の向上とその水準の維持を可能とする範囲において、事業拡大のための内部留保を勘案しながら決定することを基本方針としております。内部留保資金につきましては、今後予想される事業規模拡大のため新規事業および新製品の開発に対し有効に投資してまいります。

(単位：円，1株あたり)

	中間配当金	期末配当金	年間配当金合計	配当性向（連結）
2019/12期	5	8	13	19.9 %
2020/12期	6.5			
2020/12期（予想）		6.5	13	19.6 %

【貸借対照表】

単位：百万円、%、百万円未満切捨て

区分	2020年12月期 第3四半期末		2019年 12月期末	差額
		構成比 (%)		
流動資産	13,162	70.7	10,832	2,329
固定資産	5,463	29.3	6,081	▲617
<有形固定資産>	1,412	7.6	1,697	▲285
<無形固定資産>	2,216	11.9	2,171	45
<投資その他の資産>	1,834	9.8	2,211	▲377
資産合計	18,625	100.0	16,913	1,711
流動負債	6,343	34.1	5,960	382
固定負債	3,144	16.9	2,838	305
負債合計	9,487	50.9	8,799	688
純資産	9,137	49.1	8,114	1,023
負債・純資産 合計	18,625	100.0	16,913	1,711

<貸借対照表のポイント>

前期比の主な増減要因は、以下の通りです。

- ・資産
 - 現金及び預金 29億71百万円増加
 - 受取手形及び売掛金 5億78百万円減少
- ・負債
 - 短期借入金 12億73百万円増加
 - 未払法人税等 4億70百万円減少
- ・純資産
 - 利益剰余金 8億 3百万円増加
 - 新株予約権 1億80百万円増加

本資料の取扱のご注意

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。

正確性を期すために慎重に行っておりますが、正確性・完全性を保証するものではありません。

また、本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は当社の公表している将来見通しとは大きく異なる結果となる場合があることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ

株式会社ヴィンクス
企画本部 経営企画部
e-mail : ir@vinx.co.jp